（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | 重症児デイサービスあいキッズ（児発） | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年7月21日 | ～ | 2026年8月23日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 2 | （回答者数） | 1 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年7月21日 | ～ | 2026年8月23日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 16 | （回答者数） | 16 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年9月28日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 看護師、保育士、セラピストがそれぞれの専門性を活かしながら、子どもたち一人ひとりが充実した時間を過ごせるよう関わりを持っている。 | ・職員それぞれの得意分野を活かした活動を用意するなど、多種多様な活動を提供することで、様々な経験を積むことができるよう工夫しています。 | ・活動の中でそれぞれの力を発揮したり、現在の発達状況等に合わせた関わりを持つことができるよう多職種の連携を密にしていきます。<br>・研修会の参加等個々のスキルを伸ばせるような場を設けていきます。 |
| 2 | 子どもたち一人ひとりの小さな意思表示を見逃さないように関わりを持っている。 | ・目線の動きや手指の動き、脈拍や声等それぞれの子供達が持つ意思表示のしかたを職員で共有し、汲み取れるよう日々関わりを持っています。 | ・それぞれの子どもたちに合ったスイッチを使うことにより表現の幅を広げていけるよう取り組んでいます。 |
| 3 | 数名のチームを作りそのチームの輪を事業所に広げられる所。 | ・災害対策チームを中心に、避難方法を確立し、建物全体の訓練や事業所のみの訓練に活かしています。 | ・チームメンバーを入れ替えていくことで、職員一人ひとりが災害についての対処考えを身に着けられるようにしていきます。<br>・チームから全体に意識の輪を広げていけるよう、事業所内で発表の場を設けることも計画します。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 児発放デイ短期入所が入り乱れる時間にスペースの確保が難しい（ベッドも多い）。 | ・時間帯や利用者さんの状況にもよるが、動きが整理されていない部分があるかもしれません。 | ・活動スペースを広くとることができるようにベッドの配置を考えます。 |
| 2 | 地域の交流が少ない。 | ・意識的に場を設けなければ機会がないからかもしれません。 | ・ソルウェイズまつりなど地域とのつながりを作る活動を行っていくことができればと思います。他の事業所との交流会も今後考えていけたらと思います。 |
| 3 | | | |

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 重症児デイサービスあいキッズ（児発） |
|---|---|

公表日 2026年9月28日

利用児童数 2　　回収数 1

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 1 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | | | 1 | | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 1 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 1 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 1 | | | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 1 | | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | | | | 1 | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 1 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 1 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 1 | | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 1 | | | | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 1 | | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 1 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 1 | | | | | |

（別紙５）

# 公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 重症児デイサービスあいキッズ（児発） | 公表日 | 2026年　9月28日 |
|---|---|---|---|

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 15 | 1 | 概ね適切。利用状況により使い方を工夫している。ゆとりあるスペースがゆとりあるスペースが確保されていると思います。概ね適切だと感じる | 放デイやお泊まりの利用によりスペースの確保が難しい。現在人数は少ないが、伸び伸びとた場にはなっていない。周りにベッドも多く危険は多い。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 14 | 2 | ベッドの位置など工夫している。看護師は1:1もしくは1:2で配置されている。 | 送迎や入浴が多い時には職員数が手薄と感じる。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 16 | 0 | 状態に応じて工夫している。建物がバリアフリー。障がい者向けの作り。送迎車両の乗降から、活動スペース、浴室まで十分な広さと安全が確保されている。改善点は特に思い当たらない。ベッドやマットレスなどが適切に使用されている. | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 16 | 0 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 15 | 1 | 集中が必要な時や睡眠や休憩、感染などの危険性がある時など状況に応じて工夫している。スクリーンを利用している。環境は十分に整っている。体調に合わせて個室を使えるようになっている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 12 | 4 | 定期的に会議を開いて振り返りを行っている。個人的にはパート職員ということもあり達成できていない。会議の議事録には漏れなく目を通すようにしている。各職員が改善が必要と感じたことは発信しやすい環境はある。毎月全体会議や職種別の会議で話し合いをしている。 | 業務改善の時に大きな目標などを決めてない時があるのでできていない部分が多い。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 16 | 0 | アンケート調査を行っている。個人的には達成できていないが、事業所としては保護者の意向の確認は丁寧に行われている。保護者からの意見はすぐに全体ミーティングで共有されている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 15 | 1 | 定期面談を行っている。意見があれば言いやすい環境にある。常に話し合いやすい環境になっている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 12 | 4 | 把握できていません。外部評価があった時には全体へ共有されている。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 15 | 1 | 定期的な勉強会を開いている。アーカイブで後追いができるものが多く、参加しやすい。勉強会や研修会に参加している。 | 少ないのでもう少し多くして、偏らないで多くの方に研修の機会を設けてほしい。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 16 | 0 | 適切に作成、周知されている。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 16 | 0 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 16 | | 支援計画の会議を行っている。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | 16 | | ミーティングや全体会議で報告されている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 11 | 5 | 活動報告に記載している。 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 16 | 0 | もう少し各職種との連携を深める必要がある。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 15 | 1 | 全員ではないがチームで立案している。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 15 | 1 | 固定せずに毎週立案している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 16 | 0 | もう少し個別活動の具体化を図れると感じる。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 15 | 1 | 支援内容の変更はすぐに全体に共有できている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | 11 | 5 | その日のうちにできていない時もあるが、後日振り返りをしている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 16 | 0 | | 毎日の記録はしているが、検証を毎日都度行うのは時間が足りていないと感じる。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 15 | 1 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 16 | 0 | （工夫している）建物にスペースがあるため、施設内散歩（台車に乗って）など頻回に行っている。保育士、セラピストが中心になって充実した時間を過ごせるように、子ども達一人一人に合わせた活動が行われている。運動発達に合わせた製作物や遊びに取り組んでいる。 | 地域との活動をもう少し行っていくのがよい。通所して間もない子や頻度が少ない子の活動が後回しになりやすいように感じるので、そこが改善点だと思う。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 16 | 0 | Switchの利用。選択できる内容は選択するきっかけを促して選択してもらっている。遊びやケアを行う時には声がけを行い、反応を確認している。入職して間もない頃、可能な限り子ども本人の意思確認をしようとする職員の姿勢に感銘を受けた。個人的にはまばたきや表情以外でもコミュニケーションをとる手段を増やしていきたい。作業や遊びの際は子供が主体的に選べる工夫をしている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 15 | 1 | 図っていると思うが、詳細は分からない。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 16 | 0 | 支援者会議等で意見交換している。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | 13 | 3 | 他の事業所との関わる機会をもうけている。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 8 | 8 | | 地域との交流は少ない |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 15 | 1 | 送迎時など、保護者と話せるタイミングで相談できている。 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 11 | 5 | | 家族支援プログラムの提供を検討する必要がある。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 16 | 0 | 適切な説明をしている。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 16 | 0 | 支援計画作成時に保護者との意見交換をしている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 16 | 0 | 意見交換できている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | 16 | 0 | 定期的に面談を行なっている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 12 | 4 | | イベントでの交流はあるが父母会はない |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 16 | 0 | 迅速に対応している。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 16 | 0 | インスタあり。活動内容をSNSに載せている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 16 | 0 | 写真掲載の可能、不可を分かりやすく一覧にしている。個人情報について全体で意識している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 16 | 0 | LINEの活用。情報共有の機会を設けている。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 14 | 2 | 地域交流のできるイベント開催。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 15 | 1 | | 訓練はしているが、まだ工夫改善が必要 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 16 | 0 | 災害チームを作り活動している。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 16 | 0 | 情報用紙の活用。毎回確認している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 16 | 0 | 個人別アレルギーリストの作成。周知、毎回確認している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 16 | 0 | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 14 | 2 | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 14 | 2 | ヒヤリハット報告後の振り返りを全職員で行っている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 15 | 1 | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 15 | 1 | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 16 | | | |